

第2学年 社会科（歴史分野）学習指導案

比叡山中学校 教諭 増田 昂

1. 学習単元 「穴太積みから考える坂本の未来」

2. 単元の目標

- ・坂本の受け継がれてきた伝統・文化への関心を持ち、穴太積みが担う役割や価値をゲストティーチャーによる特別授業や坂本探訪を通して、理解することができる。 (知識・技能)
- ・坂本の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察し、自分の言葉で表現することができる。 (思考・判断・表現)
- ・穴太積みの特徴や課題、今後の在り方について、みんなで共有をしながら主体的に学びを深めようとしている。 (主体的に学びに取り組む態度)

3. 単元について

(1)教材観

本単元は、中学校学習指導要領解説社会編 歴史的分野A歴史との対話(2)「身近な地域の歴史」に位置付けている。

坂本は、本校生徒が通う地域であり、最澄上人が天台宗を開いてから仏教や歴史と深く結びついた地域である。この歴史的な地域について学び、探究活動を行うことは、SDGsの「多様性」や「相互性」にも深く結びつく学習になると考える。

本学習では、生徒たちが坂本の歴史や穴太積みを学ぶことで、地域の歴史と対話しながら地域の特徴や課題、今後の在り方について考えるようにしていきたい。

(2)生徒観

本学年は、落ち着いて授業に臨む生徒が多くいる。その中で、生徒主体の学び合いの授業をこれまで展開してきた。様々な資料を読み取ったり、周りの生徒との対話の中で思考を深めたりしていくことができた。

本学習では、普段通っている地域の歴史や特徴を資料やゲストティーチャーの特別授業から深く学び、自分の考えを地域の実態に応じて表現することにより、思考力、判断力、表現力の育成を図る。

(3)指導観

本単元はまず、地域の探訪から始める。地域のボランティアガイドさんの案内のもと、地域の特徴について知る機会を設ける。この活動を通じて、穴太積みの実態や坂本の未来について考えるようにしていく。「なぜ穴太衆は一件しか残っていないのか？」という中心課題から残ってきた理由と残す理由を探る中で学びを深めていきたい。最後には、穴太衆の方に特別授業をしていただき、坂本と穴太積みの未来についてともに考えていきたい。全体を通して、グループ学習を行い、それぞれ個人が持つ疑問を仲間との対話の中で学びを深めていく。

(4)ESD との関連

- ・ 本学習で働かせる ESD の視点（見方・考え方）
 - ・ 有限性：地域の歴史的な町なみをどのように守っていくのかを考える。
 - ・ 連携性：地域の特徴や課題を伝えていくために、仲間や地域の人々、専門家と協力していく必要がある。
 - ・ 責任性：地域の特徴や課題を次の世代にどのような形・姿で伝えていくべきか考え、行動する必要がある。

- ・ 本学習を通して育てたい ESD の資質・能力
 - ・ 多面的・総合的に考える力
 - 地域の様々な特徴や課題に対して、体験したり資料を読み取ったりしながら、様々な角度から自分事として考えることができる。
 - ・ 他者と協力する態度
 - 地域の様々な特徴や課題に対して、どのように次の世代へ守り、広めていくべきか、地域の人々や専門家などと協力することができる。
- ・ 本学習で変容を促す ESD の価値観
 - ・ 人権・文化を尊重する
 - 学校周辺の地域に注目し、先人たちによって生みだされた価値を大切に守り続けていきたい。
- ・ 達成が期待される SDGs
 - 11：住み続けられるまちづくりを
 - 17：パートナーシップで目標を達成しよう



4. 単元の評価規準

(ア)知識及び技能	(イ)思考力・判断力・表現力	(ウ)主体的に学習に取り組む態度
坂本の受け継がれてきた伝統・文化への関心を持ち、穴太積みが担う役割や価値をゲストティーチャーによる特別授業や坂本探訪を通して、理解している。	坂本の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察し、自分の言葉で表現している。	穴太積みの特徴や課題、今後の在り方について、みんなで共有をしながら主体的に学びを深めようとしている。

5. 単元の指導計画（全5時間）

時	学習活動	学習への支援	評価
1 ・ 2	○坂本ボランティアガイドさんによる坂本探訪 ・探訪を通して、新たに分かったことやもっと知りたいと思ったことを書き出す。	・事前にガイドさんと打ち合わせを行い、伝えてほしいことを伝えておく。 ・歴史的なポイントや穴太積みについて着目させるようにする。	(ア)・ (ウ)
3	○坂本と穴太積みの未来について資料をもとに考える。 ★中心課題 <u>(問い) なぜ穴太衆は一件だけ残ってきたのか？</u> ・耐震性があった ・生活スタイルの変化 ・後継者の減少 など なぜ穴太積みは日本全国に広まったのか？ ・織田信長が広めた。 ・機能性が良かった。 ・耐震性があった。 など なぜ残す必要があるのか？ ・特殊だから ・海外からも注目されているから ・コンクリートブロックより強度で勝る実験が立証されているから	・班ごとに様々な特徴が出てくるようホワイトボードを使って意見を出しやすくする。 ・熊本城の地震時の様子から耐震性について読み取ったり、現代の生活スタイルの変化など資料をもとに考察したりできるようにする。 ・古い史料を扱う場合は、現代誤訳などを併記し、内容に集中できるようにする。 ・石垣が強固な作りのため、なかなか潰れないので、仕事がなくなっていくことにも気づかせる。 ・海外からも注目されている点にも意識を向けさせる。	(イ)・ (ウ)
4	○ゲストティーチャー（穴太衆の方）による特別授業 ・特別授業を通して、坂本や穴太積みの良さ、今後の在り方について学びを深める。	・資料や生の声から自分なりの考えが表現できるように学びを深めさせるようにする。	(ア)・ (ウ)